

# 平成28年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	公明党室蘭市議会
議員名	細川 昭広、砂田 尚子、柏木 隆寿
調査実施年月日	平成28年11月16日(水)
調査先 自治体名等	東京都板橋区:ゆいま～る高島平
調査項目	「ゆいま～る高島平について」
調査目的	日本版CCRCの先進事例である「ゆいま～る高島平」を調査することにより、本市が進める「生涯活躍のまち」構想の推進に少しでも寄与できる提案を得るため。
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口:555,541人 (H28.6.1現在) 行政面積:32.22km<sup>2</sup></p> <p>2 視察内容 ゆいま～る高島平は㈱コミュニティネットが東京都板橋区高島平にあるUR団地内の空き室30戸を平成24年に20年間の定期建物賃貸借契約により取得し、1戸当たり平均460万円の改修費をかけバリアフリー化した部屋を60歳以上の单身または夫婦に入居してもらい、フロントに生活コーディネーターを配置し安否確認(緊急通報システムも設置)や生活相談などの提供サービスを行うサービス付き高齢者向け住宅で平成26年12月に開設。フロントでは交流スペースがあり入居者同士での交流も行われている。居室は高層階もあるがエレベーターが設置されており、車いすでの出入りにも配慮したエントランス及びキッチンやバス・トイレなどの水回りの配置、地域の医療機関や介護事業所との連携も図られており元気な時も介護が必要になった時も安心して暮らし続けていける住宅となっている。現在の入居者は29戸33人で平均年齢は80歳とのこと。4月から新たに5戸増え35戸となった。また平成29年度には7戸増やし合計42戸となる予定。また、地元の東京家政大学生が月1回夕食カフェ(550円)を提供するなど世代間交流も行われている。</p>
感想(まとめ) 本市へ活かせること等	<p>既存UR団地の空き室を活用した分散型サービス付き高齢者向け住宅であり、11階建ての棟内で居室階もバラバラですが見守り体制も1日1回の安否確認や夜間の警備会社と連携した緊急通報システム設置で24時間安心して生活できることは非常に先進的と感じた。ただ家賃は月々93,600～98,100円であり、月々の共益費・生活支援サービス費で1人入居で38,700円かかり、その他食費や光熱費、医療費などを考えると約200,000円くらいかかると試算されている。東京都と本市の高齢者所得の差を考えると本市の場合、お元気な方のサ高住の需要がどの程度あるのか調査が必要と感じた。ただ、本市も将来的に人口減少は避けられず、現在建て替え中の市営住宅も含め官民会わせた空き室の利活用が求められる。その場合には空き室対策、高齢者対策としての分散型サービス付き高齢者向け住宅事業も検討すべき事案と考える。また、現在、室蘭市内にもサービス付き高齢者向け住宅が何か所かあるが生活支援サービスの内容や入居者同士の交流、世代間交流、地域との交流などの実態も調査していくべきと感じた。</p>